

(平成27年6月作成)

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	3062	(H.26)No.	3062
-----------	------	-----------	------

事務事業名	内水面資源観光活用事業補助金		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	松本 孝寿	

会計区分	事業コード	363504
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	観光振興対策費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	内水面資源観光活用事業補助金	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施 策	2	観光
	小 施 策	1	魅力ある観光地づくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
内水面資源の観光活用のため、稚魚の放流による漁場の確保や親水型レクリエーションの場として観光資源化するなど、河川環境の整備や内水面資源の保護に努め、魅力ある観光地づくりを目指す。
事業内容
内水面資源の観光活用のための稚魚放流やイベント等により、内水面の保護整備を図っている。 ・名張川漁業協同組合 ・長瀬太郎生川漁業協同組合 ・青蓮寺川香落漁業協同組合

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)			
主な事業の実績・計画	・補助金 (名張川漁業協同組合、長瀬太郎生川漁業協同組合、青蓮寺川香落漁業協同組合) ・・・稚鮎の放流・育成、環境美化活動、イベント・鮎釣り大会の開催	・補助金 (名張川漁業協同組合、長瀬太郎生川漁業協同組合、青蓮寺川香落漁業協同組合) ・・・稚鮎の放流・育成、環境美化活動、イベント・鮎釣り大会の開催	内水面資源の観光活用のため稚魚放流やイベント等により、内水面の保護整備を図っている。 ・名張川漁業協同組合 ・長瀬太郎生川漁業協同組合 ・青蓮寺川香落漁業協同組合		
			H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
			・補助金 名張川、長瀬太郎生川、青蓮寺川) ・・・放流、環境美化活動、イベント開催	・補助金 名張川、長瀬太郎生川、青蓮寺川) ・・・放流、環境美化活動、イベント開催	・補助金 名張川、長瀬太郎生川、青蓮寺川) ・・・放流、環境美化活動、イベント開催

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	2,585千円	2,586千円	2,586千円	2,586千円	2,586千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 2,585	2,586	2,586	2,586	2,586
人工数					
職員	0.19人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 1,425千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円
①+②総事業費	(0千円) 4,010千円	4,086千円	4,086千円	4,086千円	4,086千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
名張地区・長瀬地区・青蓮寺地区の漁業協同組合と連携し、河川環境の保護と、水辺とふれあうことのできる体験の充実を図るなど、河川の魅力を高める取組を展開できた。	引き続き河川環境の保護に努め、体験型メニューを整備し、集客の促進を図っていく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	名張川、長瀬太郎生川、青蓮寺川の自然環境の保全・活用を進め、河川の魅力を高めることにより集客促進を図った。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	環境美化活動や鮎釣り大会を中心に、各漁業組合と連携・協働を図った。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市観光戦略 名張市エコツーリズム全体構想
現行事業の推進により、水辺の環境を整えることで、自然観光資源の魅力向上に繋がり、体験型メニュー等新たな観光資源の発掘にも繋げることができる。	